

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	免疫系の制御による生体恒常性維持システムの解明と疾患の予防・治療 基盤の確立
研究代表者	谷口 維紹（東京大学・生産技術研究所・特任教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究は、新たな自然免疫応答系の制御・維持機構を明らかにしようとするものである。特に、自己由来免疫制御分子と応募者グループが既に得ている免疫系干渉低分子化合物の作用解明に主眼を置いている。応募者はこれまでに、自然免疫、獲得免疫の両分野で種々の新分子の発見、遺伝子クローニングを行い、国際的に最先端の研究成果を発表している。本研究は、これらの研究成果に裏付けされるものであり、その遂行により十分な研究成果が期待できる。内含される4つの研究テーマの相関性が高くないことから一部懸念される意見もあったが、確実に研究成果が期待できることから、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。4つの独立した課題が着実に推進され、最終的にまとまった共通のゴールが得られるよう期待する。</p>